

平成30年度事業報告書

平成23年度から公益財団法人として再スタートし、国際化を取り巻く環境が大きく変化する中、平成25年度に策定した山口県国際交流協会活動計画に基づき、民間国際活動団体の中核的組織として、厳しい財政状況下、さらに事業の重点化や効率化に努め、県民や時代のニーズを踏まえた事業を展開するとともに、継続事業についても効果的な実施に努めた。

なお、平成31年度から5年間は、新たに策定した山口県国際交流協会中期活動プランに沿って、多文化共生の推進に重点的に取り組むこととしている。

平成30年度事業の実施状況は、次のとおりである。

1 協会運営事業

協会の運営基盤の強化を図るため、協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集を行った。

(1) 国際交流基金の造成

- 県・市町出捐金 平成11年度から休止
- 民間出捐金 実績なし

(2) 協会事業のPR及び賛助会員・事業用寄付金の募集

ア パンフレットの配布等による協会事業のPR

- 県観光スポーツ文化部合同会議 (4月6日 県庁)
- 多文化共生国際カフェ (インドネシアほか) (4月28日ほか 山口市ほか)
- 外国文化講座 (ロシアほか) (4月21日ほか 山口市)
- 県被害者支援連絡協議会相談窓口研修会 (4月26日 山口市)
- 青空天国いこいの広場 JICAと共同出展 (5月5日 山口市)
- 国連山口県本部総会・講演会 (5月26日 山口市)
- 県被害者支援連絡協議会総会 (6月14日 山口市)
- 山口県総合防災訓練 (6月17日 山口市)
- 外国人等相談窓口対応研修会 (6月21日 山口市)
- 山口市ホストファミリー研修会 (6月24日 山口市)
- 山口EU協会総会・交流会 (7月2日 山口市)
- 日本語ボランティア講座 (7月14日ほか 長門市)
- やさしい日本語講座 (7月28日 山口市)
- 中国経済連山口地区会員懇談会 (8月7日 下関市)
- インターンシップ受入 (8月17日ほか 山口市)
- 多文化共生フォーラム (セミナーパーク) (8月19日 山口市)
- 外国人のための日本語講座連絡会議 (8月28日 山口市)
- 日本語ボランティアスキルアップ研修会 (8月28日 山口市)
- 災害時外国人サポーター養成講座 (9月8日ほか 山口市ほか)
- 留学生ホームビジット説明会 (9月29日 山口市)
- 山口ゆめ花博出展 (7日間) (10月15日ほか 山口市)
- 国際交流プログラム in 徳地 (10月28日ほか 山口市)
- 山口県立大学グローバルネットワーク論講演 (10月29日 山口市)
- 宇部警察署技能実習生受入機関向け講演 (10月31日 山口市)

- ドイツ青年団受入ホストファミリー説明会 (11月 4日 山口市)
- 留学生ホームビジット交流対面式 (11月10日^{ほか}山口市^{ほか})
- 国連フェスタ (11月18日 山口市)
- 山口地域留学生交流推進会議講演 (12月 4日 山口市)
- 法テラス山口地方協議会 (12月13日 山口市)
- 多文化共生市町担当者会議 (12月21日 山口市)
- 市町等配偶者暴力相談担当者研修会 (1月17日 山口市)
- 県警察本部外事課講演 (1月18日 山口市)
- コミュニティ通訳ボランティア講座 (1月26日 山口市)
- 外国にルーツを持つ子どもの支援講座 (2月 2日 山口市)
- 下関市通訳ボランティア研修会講演 (2月10日 下関市)
- 山口県テロ対策パートナーシップ推進会議 (2月14日 山口市)
- 人づくり・地域づくりフォーラム in 山口 (2月16日^{ほか}山口市)
- 外国人住民のための日本文化教室 (2月24日 防府市)
- 外国人住民のための防災教室 (3月 3日 下関市)
- 生協まつり出展 (2日間) (3月30日^{ほか}山口市)

イ 賛助会員

個人：554名(558口) 団体：65団体(123口) 市町：全19市町
 賛助会員会費 合計：3,303,000円

ウ 事業用寄付金

2件：7,000円

2 情報ネットワークを構築する事業

(1) 情報収集提供事業

国際交流・国際協力・多文化共生に関する各種情報の収集や提供・普及等を行った。

(2) 広報事業

県民に対し協会の役割、協会事業への参加・協力のための情報を提供した。

ア HPの活用促進事業

協会主催イベント及び県内外の国際交流・国際協力・多文化共生に係るイベント情報等の掲載を行った。また、ツイッター及びフェイスブックによる情報発信により、利用者の増加を図った。

イ 携帯メール配信事業

配信希望者に、イベント等の各種情報のメール配信を行った(日本語・英語)。

3 県民の主体的な国際活動を支援しコーディネートする事業

(1) グローバル山口国際活動支援事業費補助金交付事業

民間活動団体の国際交流・協力・多文化共生を推進する事業に助成することにより、県内の国際交流・協力活動・多文化共生の促進を図った。

(交付団体 6団体 助成額 439千円)

団体名	事業名	助成額 (円)	参加者 (人)
山口県国際教育研究会	第26回山口県国際教育研究大会	100,000	100

山口EU協会	山口EU芸術祭	100,000	700
星日文化協会山口県訪問 団招致・星日文化協会コ ーラス部	星日文化協会山口県訪問団招致・星日 文化協会コーラス部山口公演文化交流 事業	100,000	527
山口県ペルー協会	山口県ペルー協会創立20周年記念交流事業	50,000	80
NPO法人ワン・フォー・オール	「山口ゆめ花博」会場での国際交流会	50,000	2,200
グローバルハートシェアリング山口	もっと気軽に国際交流プロジェクト	39,000	186

(2) 国際活動推進事業（小規模助成金）

県民・民間国際活動団体が主体となり国際理解・国際交流・多文化共生に関する小規模な文化講座等の企画・運営を行うための支援を行った。

（交付団体 8団体 助成額 357千円）

団 体 名	事 業 名	助成額 (円)	参加者 (人)
防府ユネスコ協会	第32回国際キャンプ	50,000	42
いわくに国際交流センター通津支部	日米国際交流会	48,000	165
Smiling（スマイリング）	ダンスを通じて国際交流♪トーク&ダンスワークショップ	50,000	36
日米協会岩国	第57回日本語・英語スピーチコンテスト	50,000	77
山口日仏協会	フランス社会・文化講演会	17,000	15
青年海外協力隊山口県OB 会	外国人住民の情報収集方法や行政などの外国人住民に向けた情報発信に関する調査	50,000	190
しものせき国際交流ねつ と	異文化理解講座ⅠウクライナⅡアメリカ	48,000	63
中国交流の扉	国際理解講座「中国の変遷から見る日中交流の歴史、そして今…」	44,000	35

4 地域社会における多文化共生を推進する事業

(1) 外国人のための日本語講座支援事業

ア 外国人に日本語を教えるボランティア団体に対して助成を行った（1期12回×年2回）。

受講者：計426名

会場	受講者数（春期）	受講者数（秋期）	計
岩国会場	33名	38名	71名
周南会場	32名	35名	67名
山口会場	50名	43名	93名
宇部会場	32名	47名	79名
下関会場	28名	38名	66名
萩会場	8名	3名	11名
防府会場	23名	16名	39名

イ 日本語ボランティアスキルアップ研修会

日本語ボランティア等を対象に、スキルアップのための研修会を開催した。
講師：佐賀県日本語学習支援“カスタネット”・佐賀大学非常勤日本語講師
貞松 明子 氏
8月28日（火） 協会 参加者：24名

(2) 外国人住民トータルサポート事業

ア 日本語ボランティア養成講座開催事業

日本語ボランティア登録に関心のある県民を対象に実施した。
講師：日本語クラブ山口 代表 吹屋 葉子 氏
7月14日（土）及び7月21日（土） 長門市物産観光センター
受講者：延べ57名

イ 通訳・翻訳サポータースキルアップ講座開催事業

協会登録の通訳・翻訳サポーターや活動に興味のある方を対象に、コミュニティ通訳ボランティアの基礎的知識のスキルアップと新規登録者の発掘を図った。

講座名	講師	日時・場所	人数
コミュニティ通訳ボランティア講座	・NPO 法人多言語センター理事長／名古屋外国語大学 教授 吉富 志津代 氏 <演習サポート> ・岩国市嘱託通訳（英語） ・山口県国際交流員 米国、中国、韓国	1月26日（土） 岩国市	31名

ウ 無料法律相談窓口の設置事業

- (1) 法律等の専門的な相談に対し、適宜アドバイス又は関係機関の紹介を行った。
件数36件（7ヶ国）：在留資格、事件、離婚、労働問題、交通事故等
うち行政書士による相談：1件
弁護士による相談：1件

(2) 外国人等相談窓口対応研修会

外国人住民等からの相談を適切な支援につなげることを目的として、外国人住民対応の基礎について各団体窓口担当者向けに研修を行った。
講師：公益財団法人兵庫県国際交流協会 スペイン語通訳相談員、社会福祉士
村松 紀子 氏
日時：6月21日（木） 山口県庁
参加者：40名（自治体職員、学校・社会福祉関係者等）

エ 医療サポート事業

外国人住民、医療・保健機関からの依頼に対して、通訳を派遣した。
英語：2件、タガログ語：2件

オ 留学生ホームビジット交流事業

県内大学の留学生を対象に地域の日本人家庭とのホームビジット交流を実施した。

登録数：56家庭 参加家庭：50家庭

また、他団体が実施するホームステイプログラムにホストファミリーの紹介を行った。

カ 多文化共生サポーターの活用

① 日本語ボランティアの活用

日本語学習希望者からの個別の希望内容に応じて、ボランティアの紹介を行った。

登録数：31名 紹介件数：2件

② 語学（通訳・翻訳）サポーターの紹介

文書・書簡等の翻訳、国際交流・協力イベント、会議、レセプション、法律相談、医療、生活サポート等における通訳・翻訳者の紹介を行った。

登録者数：85名 紹介件数：35件(延べ47名)

キ 多文化共生啓発事業

① 多文化共生フォーラム（山口県ひとづくり財団共催）

多文化共生のまちづくりをテーマとしたフォーラムを開催し、在住外国人によるパネルディスカッション等を通して、県民の多文化共生の意識を高め、県内の多文化共生の取り組みを促進した。

○ みんなで笑おう！やさしい日本語落語

講師：桂 かい枝 氏（落語家）

○ 外国人住民による多文化共生パネルディスカッション

コーディネーター：土井 佳彦 氏（NPO 法人多文化共生リソースセンター東海代表理事）

パネリスト：サポコタ・ナビン 氏（山口大学国際総合科学部） ネパール

ヘマ・ガルベス 氏（山口県国際交流員） スペイン

劉 清 氏（中国語通訳）中国

8月19日（日） 山口県セミナーパーク 参加者：169名

② やさしい日本語講座

外国人に伝わりやすい「やさしい日本語」について学ぶ講座を実施した。

講師：村松 紀子 氏（公益財団法人兵庫県国際交流協会 スペイン語通訳相談員、社会福祉士）

7月28日（土） 山口市白石地域交流センター 参加者：36名

※7月7日（土）長門市の講座は大雨のため開催中止。

③ 外国にルーツを持つ子どもの支援講座

「外国にルーツを持つ子ども」をテーマとした講座を昨年度に引き続き実施し、多文化共生の意識の啓発を図った。

講師：NPO 法人おおさかこども多文化センター 理事 坪内 好子 氏

2月2日（土） 山口市小郡ふれあいセンター 参加者：40名

ク 外国人住民エンパワメント事業

外国人住民を対象に書道と消しゴムハンコについて学ぶ「外国人住民のための日本文化教室」を開催した。

講師：玉椿旅館 若女将 藤井 優子 氏

2月24日（日） 防府市文化福祉会館 参加者：20名

(3) 大規模災害時における外国人支援研修事業

① 災害時外国人サポーター養成講座

災害時に外国人を支援するボランティアを養成する講座を初めて開催した。

講義：「災害時多言語支援センターの機能と役割」

ワークショップ：○ 災害時多言語支援センターの開設演習

○ 外国人被災者対応のロールプレイ

講師：NPO 法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 高木 和彦 氏

災害時外国人サポーター登録者数：49名

開催日	参加者数	場所	主催・共催
9月8日	36名	山口市小郡ふれあいセンター	主催：山口県・協会 共催：山口市
3月2日	38名	下関市立勝山公民館	主催：山口県・協会 共催：下関市

② 外国人住民のための防災教室

防災意識の向上のため、外国人住民を対象とした防災講座を開催した。

内容：防災講話、防災グッズの紹介、下関市消防防災学習館「火消鯨」の見学（消火体験・煙避難体験・防災シアター等）

開催日	参加者	講師	場所	主催・共催
3月3日	31名	下関市防災危機管理課	下関市消防防災学習館「火消鯨」	主催：協会 共催：下関市

5 国際理解・国際協力を推進する事業

(1) 外国文化講座等開催事業

県国際交流員、在住外国人を講師に外国の文化講座や文化講座を実施し、外国への理解を促進するとともに、国際活動の推進を図った。

タイトル	講師	実施日・場所	人数
外国文化講座（全4回） 「知って・聞いて・体験！世界の文化Ⅱ」	山口県国際交流員 ①ヘマ・ガルベス氏（スペイン） ②ティナ・サトウ氏（米国） ③黄艺氏（中国） ④裴允珠氏（韓国）	9/15、10/13、11/10、12/15 いずれも土曜 山口市	44名

多国籍料理講座（全3回） ①「ネパール料理」 ②「ロシア料理」 ③「イタリア料理」	①山口大学生(ネパール)サポコタ・ナビン氏 元青年海外協力隊員 木花 一氏 ②山口日露交流クラブ(ロシア)上田 エカテリーナ氏 ③日伊協会YOV'eST山口 粉川 妙氏	4/21、4/28、5/12 いずれも土曜日 山口市	37名
----------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------	-----

(2) タブカフェ（多文化共生国際カフェ）事業

県国際交流員、在住外国人等を講師に外国の文化、習慣、食事等について幅広く学ぶ講座を県内各地で開催し、国際交流・国際理解・国際協力の基盤の拡大を図った。

タイトル	講師	実施日・場所	人数
ワンダフル！インド ネシア	チニンタ・アプリナ 氏 (山口大学大学院東アジア研究科)	4月14日(土) 山口市 協会	35名
ボリビアで学んだボ ランティアのあり方 +南米旅行記	山村 優 氏 (元青年海外協力隊)	11月17日(土) 山口市 協会	13名
世界のクリスマスは どんな様子？	(山口県国際交流員) ヘマ・ガルベス 氏 (スペイン) ティナ・サトウ 氏 (米国)	12月1日(土) 美祢市立図書館	30名
世界のクリスマスは どんな様子？	(山口県国際交流員) ヘマ・ガルベス 氏 (スペイン) ティナ・サトウ 氏 (米国)	12月8日(土) 柳井市文化福祉会館	23名

(3) 青少年交流事業

① 山口県青少年代表訪問団の派遣

広い視野をもって活躍する国際感覚豊かな青少年を育成するとともに、日中両国の青少年間における友情を育むことを目的として、選抜された県内の高校生を山口県青少年代表訪問団として中国山東省済南市へ派遣した。

参加者：県内高校生9名 引率：2名

期間：8月3日～6日

場所：済南市内学校、山東博物館、大明湖、趵突泉公園等

内容：「2018山東国際青少年文化の旅」レセプション・ロボット大会参加、ホームビジット交流、史跡視察等

② 国際交流プログラム in 徳地

外国人留学生・在住外国人と県内高校生との宿泊交流会（1泊2日）を実施した。

参加者：外国人 19名（9ヶ国：キルギス、ペルー、ウクライナ、グアテマラ、中国、バングラデシュ、イギリス、インドネシア、韓国）

高校生 20名（柳井・周南・下松・山口・山陽小野田・下関）

期間：10月27日(土)～28日(日)

場所：国立山口徳地青少年自然の家、重源の郷

内容：TAP(徳地アドベンチャープログラム)、国際理解ワークショップ、天体観測、重源の郷の散策、そば打ち体験、紙漉体験

(4) 国際理解教材整備貸出事業

地球市民教材・民族衣装の紹介、貸出しを行うことにより、県民の国際理解の促進を図った。

文化の箱（世界の楽器）	4件
民族衣装	29件（219着）
国旗・卓上旗	10件（27枚）

6 受託事業（山口県から受託）

(1) 海外技術研修員等受託事業

海外技術研修員 6名（ブラジル3名、ペルー2名、メキシコ1名）

(2) 多言語相談窓口設置受託事業

対応言語：タガログ語（フィリピン）相談員1名、中国語相談員1名を配置

相談日：毎週水曜日（タガログ語）、木曜日（中国語）午後1時～午後4時

相談内訳：

[在住外国人、行政機関、県民からの電話・来訪等の相談件数]

324件：行政機関	75件（国、県、市町、警察、検察等）
教育機関	17件
医療機関	6件
企業・団体	61件
在住外国人	107件（13カ国、3カ国不明含まない）
県民	58件

うちタガログ語相談窓口への相談件数：35件

中国語相談窓口への相談件数：37件

7 その他

(1) 山口ゆめ花博でのPRブースの出展

実施日：10月15日（月）～10月21日（日）7日間

場 所：山口ゆめ花博会場・森のピクニックゾーン

内 容：やさしい日本語クイズに答えて世界の国旗の缶バッジづくり

協会活動及びやさしい日本語に関するパネル展示

世界の楽器体験コーナー

来場者数：2,500人のうち、缶バッジ参加者2,050人

(2) 山口県総合防災訓練への参加

実施日：6月17日（日）

場 所：山口県消防学校

内 容：災害時における外国人支援の展示を中心に、防災グッズの紹介や外国人に情報伝達する手段として有効な「やさしい日本語」のクイズを行った。

(3) インターンシップの受入

a 実施日：各3日間（8月17日～19日 3名、9月6日～8日 6名）

人 数：9名（うち留学生1名）

参加大学等：山口県立大学7名、関西外国語大学1名、YIC ビジネスアート専門学校1名

山口県インターンシップ推進協議会からの依頼により受け入れた。

b 実施日：1日（2月6日） ※山口市国際交流課職員2名同席

人数：2名

参加大学：山口大学留学生（ハンガリー・台湾）

(4) 多文化共生市町担当者会議

県内の各自治体での多文化共生の取り組みを促進するため、県国際課が主催する多文化共生担当者会議に出席し、協会の多文化共生活動の取組を紹介するとともに、協会との連携をお願いした。

実施日・場所：12月21日（金） 県庁共用会議室

参加者：26名（11市町18名、県関係4名、協会4名）

内容：県・山口県国際交流協会・下関市の取組の紹介

講演：「市町における多文化共生の取組に向けて」及びワークショップ

講師：（一財）熊本市国際交流振興財団 事務局次長 勝谷 知美 氏

附属明細書について

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので、附属明細書は作成していない。